

# 第十一次基本計画 実施計画（目的指向体系表）

政策目標5	「活力にあふれ交流でにぎわうまち」
-------	-------------------

---

施策5-1 地域資源の魅力向上

施策5-2 新たな観光形態の構築・推進

施策5-3 広域連携による誘客の拡充

施策5-4 商工業の振興

施策5-5 農林業の振興

施策5-6 水産業の振興

施策5-7 移住定住の促進・関係人口の拡大

施策5-8 国際交流の推進・都市交流の促進

担当課	観光課・企画課	施策5-1の全指標達成率					
政策目標	5 活力にあふれ交流でにぎわうまち	年度	R3	R4	R5	R6	R7
施策分野	1 地域資源の魅力向上	指標数	18	18	18	18	18
目指す姿	観光客が地域資源に魅力を感じ来訪する	達成数	11	10	0	0	0
	市内観光関連事業者が地域資源の魅力を広く発信し、誘客につなげる	達成率	61.1%	55.6%	0.0%	0.0%	0.0%

1 成果指標 (KPI)		指標数	2	2	2	2	2			
		達成数	0	0	0	0	0			
		達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
成果指標 1	年間来遊客数	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		R1	目標値	700	710	720	725	730	万人	観光課
	実績値	461	551							
		662万人	評価	× 未達成	× 未達成				以上	
目標値の考え方	本市への年間来遊客数については、平成29年度665万人、平成30年度656万人、令和元年度662万人と660万人前後を推移している。本指標については社会情勢に大きく影響を受けるものであるが、第3次観光基本計画の目標値としている令和5年度の720万人達成を通過点とし、本計画の最終年度には730万人となるよう毎年5~10万人の増加を見込んでいく。									
成果指標 2	観光客の満足度 (伊東温泉観光客実態調査)	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		R1	目標値	85.0	87.5	90.0	92.5	95.0	%	観光課
	実績値	70.1	86.9							
		62.3%	評価	× 未達成	× 未達成				以上	
目標値の考え方	本市が実施する伊東温泉観光客実態調査で本市全体の印象を満足度と捉え、「非常に良い」「良い」の回答の割合の合計を指標とする。基準値に設定した令和元年度の前年が80%だったことを考慮し、最終年度には95%となるよう毎年2.5%ずつ増加を見込んでいく。									
R4年度	1 (実績評価) ・全国的な行動制限の解除や全国旅行支援など観光需要の高まりが見受けられたことから、3年ぶりに対前年を上回った。しかしながら、コロナ禍前の令和元年と比較すると8割程度であることから、未だ完全な回復には至っていない。 (次年度修正点) ・本市に存在する観光コンテンツの魅力向上を図り、国内外へ発信するとともに、本市の知名度と顧客満足度の向上を目指すための新たな施策を創出する。									
	2 (実績評価) ・令和4年度から従来の対面での調査から、WEBを中心とした調査方法に切り替え、より幅広い世代から回答を得た中で対前年と比較して満足度が大きく向上したことから、引き続き観光振興施策の推進を図る。 (次年度修正点) ・満足度調査による本市全体への印象として「普通」と回答した12.2%の層を「非常に良い」・「良い」へ移行するための観光コンテンツの磨き上げ、おもてなしの改善を図りたい。									

2 基本的な取組 (2桁コード) ・主な内容 (4桁コード)		指標数	16	16	16	16	16			※ 基本的な取組・主な内容の達成状況	
		達成数	11	10	0	0	0				
		達成率	68.8%	62.5%	0.0%	0.0%	0.0%				
O1 情報発信の強化		達成状況	指標数	3	3	3	3	3			
			達成数	2	2	0	0	0			
			達成率	66.7%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%			
主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
			O101	公式HP・SNS等を活用した情報発信	公式サイト等の更新件数 (HP各種SNSの合計)	R2	目標値	800	850	900	950
			792件	実績値	805	928					
			評価	○ 達成	○ 達成				以上		
O102	有料プレスリリースを活用したメディアへの情報発信	広告換算費	R1	目標値	2,500	3,000	3,500	4,000	4,500	万円	観光課
		1,256万円	0件	実績値	3,453	7,408					
			評価	○ 達成	○ 達成				以上		
O103	旅行者の利便性向上及び市内消費拡大に向けた事業者による検索エンジンへの登録促進	登録施設・店舗数 (単年)	R1	目標値	10	20	30	40	50	件	観光課
		0件	0	実績値	0	9					
			評価	× 未達成	× 未達成				以上		
年度評価	O101 目標値を継続して上回るとともに、課題であったSNS関連の投稿回数・更新頻度についても大きく改善できたことから、年間を通じて効果的な情報発信ができた判断できる。										
	O102 本市の観光イベントが年間を通じて開催できたことから、拡散率も向上したため広告換算費へと大きく寄与した。については、効果的な情報発信ができた判断できる。										
	O103 年間を通じて計画的に着手できなかったことから目標を下回る結果となった。今後においては、主要な観光施設は既に登録したことから、民間施設等の登録を促進することで旅行者の利便性向上を図る。										

O2 旅行形態、観光客ニーズの把握		達成状況	指標数	2	2	2	2	2			
			達成数	1	1	0	0	0			
			達成率	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
			O201	デジタルマーケティングによる情報発信及び調査・分析	YouTubeチャンネル登録者数	R2	目標値	8,000	30,000	31,000	32,000
			6,990人	実績値	24,800	32,325					
			評価	○ 達成	○ 達成				以上		
O202	伊東温泉観光客実態調査による調査・分析	市民満足度調査の観光施策への満足度	R1	目標値	52.0	54.0	56.0	58.0	60.0	%	観光課
		46.5%	0	実績値	47.9	49.1					
			評価	× 未達成	× 未達成				以上		
年度評価	O201 令和2年度から4年度にかけてデジタルマーケティング事業で制作した動画に対し、各種広告手法を講じることで、国内の観光地としては圧倒的に高い再生回数により当該チャンネルとそのコンテンツのPRを行うことができた。										
	O202 年間を通じて従来の観光イベントを開催することができたが、コロナ禍前の集客には及ばない結果であったことや、全国旅行支援の実施により観光需要が高まりを見せた中で、同事業と合わせた効果的な誘客施策を行うことができなかった。「観光地伊東」としての姿を提示し、観光地としてのブランディングの更なる推進、統一的なイメージを持ったプロモーションを展開することで、誘客促進を図る。										

03 ブランドイメージの確立			達成状況	指標数	1	1	1	1	1		
				達成数	1	1	0	0	0		
				達成率	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0301	本市の魅力や価値あるものの明確化と観光プロモーションによるブランドイメージの浸透	ターゲットを絞ったプロモーションの実施	R1 3事業	目標値	4	4	4	5	5	事業 以上	観光課
				実績値	4	6					
				評価	○ 達成	○ 達成					
R4	0301 継続して実施している南部地域の観光事業者を中心とした教育旅行誘致・ミカン狩りやダイビングなどのプロモーションのほか、企業や団体旅行を誘致するためのコンテンツとしてまくら投げ・ポッチャをテーマとしたプロモーションを行った。										

04 イベント等の磨き上げ			達成状況	指標数	4	4	4	4	4		
				達成数	2	3	0	0	0		
				達成率	50.0%	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0401	既存イベントの見直し	サマレビュー事業見直し件数(重垢・廃止・見直し)	R2 38件	目標値	40	40	45	45	50	件 以上	観光課
				実績値	32	34					
				評価	× 未達成	× 未達成					
0402	情報発信	イベント告知用プレスリリースの広告換算費	R1 701万円	目標値	750	800	1,000	1,200	1,500	万円 以上	観光課
				実績値	878	3,348					
				評価	○ 達成	○ 達成					
0403	中心市街地における回遊の仕組みづくり	回遊施策実施数(単年)	R2 1事業	目標値	2	2	2	3	3	事業 以上	観光課
				実績値	2	2					
				評価	○ 達成	○ 達成					
0404	商店街等との連携	連携事業数	R2 2事業	目標値	2	2	2	3	3	事業 以上	観光課
				実績値	1	3					
				評価	× 未達成	○ 達成					
R4	0401 新型コロナウイルス感染症の収束を視野に入れ、市内経済の早期回復を後押しする効果的施策を実現するために既存事業を見直した。今後においても観光動向を注視する中で、効果的な事業が実施できるよう事業の見直し等を行う。										
	0402 本市の観光イベントが年間を通じて開催できたことから、拡散率も向上したため広告換算費へと大きく寄与した。ついては、効果的な情報発信が出来たと判断できる。										
	0403 「伊東温泉竹あかり」では継続事業として松川遊歩道沿いに竹あかりを年間を通じて設置することで夜の街歩きを促進したほか、「伊東温泉浴衣レンタルスペース「ゆかたび」」の利用者に対し市街地の指定店舗で受け取れるインセンティブを付与し、市街地の回遊を促進した。										
	0404 按針祭事業において、商店街と連携した取組を実施するとともに、商店街主催事業に協力したことで、商店街等との連携強化を図ることができた。										

05 観光施設の高付加価値化			達成状況	指標数	3	3	3	3	3		
				達成数	3	1	0	0	0		
				達成率	100.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%		
主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0501	観光施設の計画的な整備と維持管理	施設整備事業数	R2 4事業	目標値	5	8	8	8	8	事業 以上	観光課
				実績値	5	4					
				評価	○ 達成	× 未達成					
0502	観光施設花壇の魅力向上	植木花壇の剪定回数	R1 6回	目標値	6	8	8	8	8	回 以上	観光課
				実績値	16	9					
				評価	○ 達成	○ 達成					
0503	施設情報(花の開花時期等)の積極的な情報発信	HP(「観光行政情報」)の更新件数	R1 4件	目標値	8	10	12	12	12	件 以上	観光課
				実績値	8	5					
				評価	○ 達成	× 未達成					
R4	0501 観光施設は老朽化が進んでいる施設が多く、利用頻度や施設の状態を考慮し、優先順位の高い施設から改修を行った。今後も観光客や市民のニーズを的確に把握し、必要な施設整備や長寿命化を計画的に実施していく。										
	0502 伊東駅前ロータリー、国道135号バイパス、川口公園や留田海浜公園などの花壇の剪定、刈込や除草などの作業を行い、適切な維持管理に努めた。また、小室山公園のつつじについても、樹勢が良好になるよう剪定等を行った。										
	0503 小室山公園など既存施設の情報更新や観光施設の改修工事の情報など、市民や観光客が必要とする情報の発信は行ったが、今後は花の開花時期や施設の魅力などの情報発信を更に強化していく。										

06 外国人観光客の誘致			達成状況	指標数	2	2	2	2	2		
				達成数	1	1	0	0	0		
				達成率	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0601	デジタルマーケティングによる海外への情報発信及び調査・分析	YouTubeチャンネル国外登録者数	R2 6,434人	目標値	7,000	15,000	15,500	16,000	16,500	人 以上	観光課
				実績値	12,826	29,589					
				評価	○ 達成	○ 達成					
0602	観光案内板・パンフレット等の多言語化	多言語施策実施件数(単年)	R1 2件	目標値	1	1	2	2	2	件 以上	観光課
				実績値	0	0					
				評価	× 未達成	× 未達成					
R4	0601 令和4年度の当該事業において16,763人の外国人視聴者が本市YouTubeチャンネルを登録した。また、海外での視聴回数は約7,040,000回であった。										
	0602 昨年同様に外国人観光客の入国規制により旅行動向が不透明であったことから未実施となった。今後については、インバウンドの旅行動向を注視しつつ、効果的なタイミングで事業を実施する。										

07	ふるさと納税制度を活用した地域振興の推進		達成状況	指標数	1	1	1	1	1		
			達成数	1	1	0	0	0			
			達成率	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
	主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
	0701 ふるさと納税制度の市内事業者への周知に向けた取組	ふるさと納税の寄付件数	R1	目標値	6,600	7,700	8,800	9,900	11,000	件	企画課
5,477件			実績値	7,964	13,082						
			評価	○ 達成	○ 達成						
年度評価	R4	0701 新たな寄附の手段として、伊東マリンタウンにおける「伊東市ふるさと納税応援感謝券」を返礼品とした寄附の受付を開始するとともに、期間限定で返礼品内容量を増量するなど、寄附者にとって魅力的な返礼品の提供に努めたことで目標値を達成することができた。									

担当課	観光課・生涯学習課	施策5-2の全指標達成率					
政策目標	5 活力にあふれ交流でにぎわうまち	年度	R3	R4	R5	R6	R7
施策分野	2 新たな観光形態の構築・推進	指標数	16	16	16	16	16
目指す姿	観光客が本市を訪れる目的を多種多様な中から選択することができ、滞在型（2泊以上）の観光地として訪れる	達成数	8	7	0	0	0
		達成率	50.0%	43.8%	0.0%	0.0%	0.0%

1 成果指標（KPI）	指標数	2	2	2	2	2			
	達成数	2	2	0	0	0			
	達成率	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
成果指標1	伊豆・伊東観光ガイドのPV数	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	単位 担当課	
目標値の考え方	本市の観光情報を得る手段として、毎年実施している「伊東温泉観光客実態調査」では4割強がインターネットを活用していることが分かっている。令和元年度については約230万アクセス、新型コロナウイルスの影響で客足が遠のいていた令和2年度についても、アクセス状況は良好で9月以降は前年比プラスとなっていることを考慮し、令和3年度を240万アクセス、毎年40万アクセスをプラスし、令和7年度に400万アクセスを見込んでいく。	R1	目標値	2,400,000	2,800,000	3,200,000	3,600,000	4,000,000	77%以上 観光課
		2,327,820	実績値	3,361,644	4,082,154				
		77%以上	評価	○ 達成	○ 達成				
成果指標2	伊東での滞在日数（2泊以上の割合） ※伊東温泉観光客実態調査より	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	単位 担当課	
目標値の考え方	本市への滞在日数が2泊以上の割合については、基準値とした令和元年は19%となっているが、平成30年、平成29年と15%に満たない数値となっている。滞在型観光へシフトしたい本市の方向性を図る指標として設定し、コンスタントに15%以上の数値となるよう令和3年度より2.5%ずつの増加を見込み、令和7年度には25%を目指していく。	R1	目標値	15	17.5	20	22.5	25	% 観光課
		19%	実績値	18	27.3				
			評価	○ 達成	○ 達成				
R4年度	<p>1（実績評価）・観光イベント等の情報発信強化や特集記事の更新等により閲覧者の旅行意欲にアプローチすることができ、PV数のみならずセッション数や閲覧時間の向上を図る事ができた。</p> <p>（次年度修正点）・「伊豆・伊東」の観光サイトとしての情報量の拡充を図るとともに、SEO対策を行い情報発信の更なる強化に努める。</p> <p>2（実績評価）・国外への渡航規制や県や国の宿泊支援策により国内旅行における長期滞在の需要が高かったことから、目標を大きく達成することができた。</p> <p>（次年度修正点）・旅行業界を取り巻く環境が通常時に戻った際には、旅行需要の低下が予想されるので、本市南部地域を中心に推進している滞在型観光誘致に向けた取組を強化することで継続的に滞在時間の延長を図る。</p>								

2 基本的な取組（2桁コード）・主な内容（4桁コード）	指標数	14	14	14	14	14			※ 基本的な取組・主な内容の達成状況
	達成数	6	5	0	0	0			
	達成率	42.9%	35.7%	0.0%	0.0%	0.0%			
O1 情報発信の強化	達成状況	指標数	3	3	3	3	3		
		達成数	2	2	0	0	0		
		達成率	66.7%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%		
年度評価	R4	O101	目標値を継続して上回るとともに、課題であったSNS関連の投稿回数・更新頻度についても大きく改善できたことから、年間を通じて効果的な情報発信ができたと判断できる。						
		O102	本市の観光イベントが年間を通じて開催できたことから、拡散率も向上したため広告換算費へと大きく寄与した。ついては、効果的な情報発信ができたと判断できる。						
		O103	年間を通じて計画的に着手できなかったことから目標を下回る結果となった。今後においては、主要な観光施設等は既に登録したことから、民間施設等の登録を促進することで旅行者の利便性向上を図る。						

O2 旅行形態、観光客ニーズの把握	達成状況	指標数	2	2	2	2	2		
		達成数	1	1	0	0	0		
		達成率	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
年度評価	R4	O201	令和2年度から4年度にかけてデジタルマーケティング事業で制作した動画に対し、各種広告手法を講じることで、国内の観光地としては圧倒的に高い再生回数により当該チャンネルとそのコンテンツのPRを行うことができた。						
		O202	年間を通じて従来の観光イベントを開催することができたが、コロナ禍前の集客には及ばない結果であったことや、全国旅行支援の実施により観光需要が高まりを見せた中で、同事業と合わせた効果的な誘客施策を行うことができなかった。「観光地伊東」としての姿を提示し、観光地としてのブランディングの更なる推進、統一的なイメージを持ったプロモーションを展開することで、誘客促進を図る。						



03 ロケツーリズムの推進			達成状況	指標数	2	2	2	2	2		
			達成数	0	0	0	0	0			
			達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
0301 積極的なロケ誘致・受け入れ支援	ロケ及びロケハン実施数	R1	目標値	90	105	120	135	150	件	観光課	
		74件	実績値	75	101						
			評価	× 未達成	× 未達成						
0302 ロケ実績を活用した誘客施策の展開	伊東市の観光の情報元としてTVを選んだ人の割合 ※1	R1	目標値	16.5	18.0	—	—	—	%	観光課	
		13.6%	実績値	14.1	4.1	—	—	—			
			評価	× 未達成	× 未達成						
0303 ロケ誘致・受け入れ支援による経済効果	伊東市映像作品撮影事業費補助金を活用した作品に係る直接的経済効果 ※1	R1	目標値	—	—	10,000千円	12,500千円	12,500千円	円	観光課	
		954千円	実績値	—	—						
			評価	—	—						
R4	0301 目標値は下回ったもののロケに関する問い合わせは着実に増加していることから、制作会社等に積極的に受入窓口である官民連携で組織した伊東ロケーションサービスや補助金制度を周知することで、誘致件数の増加を図る。										
	0302 県や国の旅行支援の実施により、インターネットや旅行代理店等からの旅行予約が主流となり各種HPや旅行サイトを契機とした情報収集が大きく上昇したため、目標を大きく下回った。TVによる情報収集が減少傾向にあることから、管理指標を修正し、新たに管理指標0303を設けた。										
	0303 管理指標0302を修正し、ロケ誘致・受け入れ支援による経済効果を指標として設定した。近年のロケ支援・誘致の成果により、誘致件数が増加している中で当該補助金の申請件数も併せて増加したことから、市内にて消費される金額も比例して増加傾向である。										

※1 県や国の旅行支援の実施により、インターネットや旅行代理店等からの旅行予約が主流となり各種HPや旅行サイトを契機とした情報収集が大きく上昇した一方、TVによる情報収集が減少傾向にあることから、管理指標0302を修正し、管理指標0303を新設した。

04 まくら投げ競技を活用した団体旅行の誘致			達成状況	指標数	1	1	1	1	1		
			達成数	0	0	0	0	0			
			達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
0401 キービジュアルを活用した企業・団体等にターゲットを絞った情報発信	団体旅行で訪れた企業数	R1	目標値	2	4	6	8	10	社	観光課	
		0社	実績値	0	3						
			評価	× 未達成	× 未達成						
R4	0401 目標値は下回ったものの、教育旅行での体験コンテンツや企業研修等でのチームビルディングなどのコンテンツとして旅行会社等から問合せが増えていることから、地域内の宿泊施設と連携するなど実際の誘致に結びつくような受入態勢の強化を図る。										

05 健康保養地づくり事業の推進			達成状況	指標数	3	3	3	3	3		
			達成数	1	1	0	0	0			
			達成率	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%			
主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
0501 滞在型観光の推進（滞在型リフレッシュリゾート地の確立）	2泊以上の割合	R1	目標値	15	17.5	20	22.5	25	%	観光課	
		19%	実績値	18	27.3						
			評価	○ 達成	○ 達成						
0502 オレンジビーチマラソンの実施	オレンジビーチマラソン申込者数	R1	目標値	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	人	生涯学習課	
		2,427人	実績値	0	1,535						
			評価	× 未達成	× 未達成						
0503 体験プログラムの造成及び情報発信	体験サイトの記事投稿数	R1	目標値	140	155	170	185	200	記事	観光課	
		125記事	実績値	136	140						
			評価	× 未達成	× 未達成						
R4	0501 国外への渡航規制や県や国の宿泊支援施策により国内旅行における長期滞在の需要が高かったことから、目標を大きく達成することができたが、旅行業界を取り巻く環境が通常時に戻った際には、旅行需要の低下が予想されるので、ペットツーリズムを核とした伊豆高原のブランドイメージ向上に向けた取組を戦略的に進め継続的に滞在時間の延長を図る。										
	0502 コロナ禍における大会運営について検討し、令和元年度以来3年ぶりにオレンジビーチマラソンを開催することができた。申込者数は目標値に至らなかったが、令和5年度以降は参加者数の段階的な回復を目指し、魅力ある大会を構築していく。										
	0503 継続して目標値を下回っていることから、HP内の特集記事作成時における市内観光事業者への取材や定期的に新規施設を注視することで、記事更新の頻度を増やすとともに、情報量の拡充に努める。										

06 マイクロツーリズムの推進			達成状況	指標数	1	1	1	1	1		
			達成数	1	1	0	0	0			
			達成率	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
0601 県民をターゲットにした誘客施策の展開	県内観光客の割合	R1	目標値	7.0	9.0	11.0	13.0	15.0	%	観光課	
		7.9%	実績値	13.0	9.6						
			評価	○ 達成	○ 達成						
R4	0601 県民を対象とした宿泊支援の効果もあり、継続して目標値を上回ることができた。										

07 ワークেশョンの推進			達成状況	指標数	2	2	2	2	2		
			達成数	1	0	0	0	0			
			達成率	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
0701 ワークেশョン対応施設等の情報発信	ワンストップ窓口問い合わせ件数（単年）	R1	目標値	25	50	60	70	80	件	観光課	
		0件	実績値	11	14						
			評価	× 未達成	× 未達成						
0702 ワーキングスペース等のハード整備の検討	テレワーク受入対応施設数（累計）	R1	目標値	5	20	25	30	35	施設	観光課	
		0施設	実績値	14	17						
			評価	○ 達成	× 未達成						
R4	0701 全国的な行動制限の解除等により、出社による勤務が回復しリモートワークが相対的に減少したことにより未達成となった。しかしながら、首都圏の企業では未だ関心が高い取組であることから、企業向けの情報発信を強化していきたい。										
	0702 伊東市観光地ワークেশョン受入環境整備促進事業費補助金の申請施設が予定より減少したことにより未達成となった。今後においては、国・県の補助制度を注視し、その情報を関係施設に周知することでワークেশョン需要を取り込むための施設整備を促す。										



担当課	観光課	施策5-3の全指標達成率					
政策目標	5 活力にあふれ交流でにぎわうまち	年度	R3	R4	R5	R6	R7
施策分野	3 広域連携による誘客の拡充	指標数	14	14	14	14	14
目指す姿	観光客が伊豆半島へ長く滞在し、連携市町を回遊する	達成数	4	6	0	0	0
		達成率	28.6%	42.9%	0.0%	0.0%	0.0%

1 成果指標 (KPI)		指標数	2	2	2	2	2			
		達成数	0	0	0	0	0			
		達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
成果指標 1	伊豆半島7市6町の観光交流客数	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
		R1	30,000,000	44,000,000	46,000,000	48,000,000	50,000,000	人	観光課	
		43,859,475人	実績値	26,168,435	36,930,551			以上		
			評価	× 未達成	× 未達成					
目標値の考え方		広域連携による誘客については、市単位ではなく連携する市町による面での施策の結果を指標とし管理していく。令和元年度には約4,400万人となっているが、令和2年度、令和3年度については新型コロナウイルスの影響により大きく数値が落ちることが予測されるため、それらを考慮して目標値を設定、令和4年度からは毎年200万人をプラスし、令和7年度には5,000万人を目指していく。								
成果指標 2	伊豆半島7市6町の外国人宿泊客数	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
		R1	400,000	630,000	645,000	660,000	675,000	人	観光課	
		646,530人	実績値	24,540	98,943			以上		
			評価	× 未達成	× 未達成					
目標値の考え方		広域連携のインバウンド施策の結果を管理する指標として伊豆半島7市6町の外国人宿泊客数を設定する。令和元年度は約65万人となっているが、令和2年度、令和3年度については新型コロナウイルスの影響により大きく数値が落ちることが予測されるため、それらを考慮して目標値を設定、令和4年度からは毎年1万5,000人をプラスし、令和7年度には67万5,000人を目指していく。								
R4年度	1 (実績評価) ・未だ基準値を下回る数値だが、全国的な行動制限の解除や全国旅行支援など観光需要の高まりが見受けられたことから、対前年比では141%と回復基調を示している。									
	(次年度修正点) ・当地区への誘客を図るため、各種協議会が積極的に事業を推進していることから、広域周遊・誘客宣伝等の事業効果を楽しめるよう積極的に働きかける。									
		2 (実績評価) ・未だ基準値を下回る数値だが、渡航制限や水際対策の緩和により、対前年比では403%と回復基調を示している。								
		(次年度修正点) ・インバウンドについては、当初の推測より回復が顕著であることから、当地区の特徴を活かした滞在・周遊施策を促進するため、美しい伊豆創造センターと協調したインバウンド施策を進めていく。								

2 基本的な取組 (2桁コード) ・主要内容 (4桁コード)		指標数	12	12	12	12	12	※ 基本的な取組・主要内容の達成状況		
		達成数	4	6	0	0	0			
		達成率	33.3%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
O1 美しい伊豆創造センターとの連携	達成状況	指標数	4	4	4	4	4			
		達成数	3	3	0	0	0			
		達成率	75.0%	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
主な内容	管理指標	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
O101 主要都市へのキャラバンの実施	主要都市へのキャラバン実施件数	R1	目標値	2	2	2	3	3	件	観光課
		2件	実績値	4	8				以上	
O102 SNS等を使った情報発信の強化	SNSフォロー合計数	R2	目標値	16,000	18,000	20,000	22,000	24,000	人	観光課
		14,700人	実績値	34,284	29,063				以上	
O103 国内観光キャンペーンの実施	国内観光キャンペーン実施・参加件数	R1	目標値	8	8	9	9	10	件	観光課
		7件	実績値	10	11				以上	
O104 海外プロモーションの実施	ファミトリップ対応、海外商談会等参加件数	R1	目標値	45	50	55	60	65	件	観光課
		39件	実績値	14	25				以上	
			評価	× 未達成	× 未達成					
R4年度評価	O101 静岡県観光協会と連携し、各市町のPR及び造成した観光商品を紹介するためのエージェントセールスを首都圏、名古屋、大阪などの全国主要都市において実施した。									
	O102 プレゼントキャンペーンを実施した昨年と比較すると全体的なフォロー数は減少したが、若い世代に関心が高いInstagramではF1層をターゲットとした情報発信、TwitterやFacebookでは、会員が発信した観光情報のリツイートやシェアを中心に情報の拡散を行うなど、効果的に情報発信を行うことができた。									
	O103 伊豆半島域内の市町、観光協会、交通事業者等と連携し、伊豆主要のマーケットである首都圏等の観光キャンペーンに出店し、地域外へ伊豆の魅力をPRした。									
	O104 新型コロナウイルス感染拡大を理由にした渡航制限により、現地での観光プロモーションが年間を通じて実施できなかったため、目標値を下回ったが、台湾OTAや近年注目が集まるインフルエンサーを活用した取組等にて伊豆のPRを実施した。今後においては、年間を通じた現地でのプロモーションやターゲットとする国や地域を拡大することで、伊豆の魅力を広く情報発信していく。									



02 伊豆半島ジオパーク推進協議会との連携	達成状況	指標数					単位	担当課		
		4	4	4	4	4				
		達成数	0	1	0	0			0	
主な内容		管理指標	基準値	R3	R4	R5	R6	R7		
0201 再認定（日本・世界）に向けた整備	ジオガイド累計人数	R1	目標値	230	265	300	335	370	人	観光課
		195人	実績値	194	193					
		評価	× 未達成	× 未達成						
0202 イベント等の実施	イベント等実施回数	R1	目標値	20	22	24	26	28	回	観光課
		18回	実績値	11	23					
		評価	× 未達成	○ 達成						
0203 ジオツーリズムの推進	ジオリア入館者数	R1	目標値	21,000	22,000	23,000	24,000	25,000	人	観光課
		19,424人	実績値	7,135	12,530					
		評価	× 未達成	× 未達成						
0204 ジオサイト及び誘導サイン等の整備	ジオサイト及び誘導サイン等の整備件数 ※2	R1	目標値	3	4	—	—	—	件	観光課
		3件	実績値	2	0	—	—	—		
		評価	× 未達成	× 未達成						
0205 ジオパーク間の相互交流及び情報共有	国内外から視察・研修等の受入件数 ※2	R1	目標値	—	—	6	6	6	件	観光課
		12件	実績値	—	—					
		評価	—	—						
年度評価 R4	0201 新型コロナウイルス感染拡大を理由に延期を余儀なくされた認定講座を3年ぶりに再開したが、年齢を理由にジオガイドを引退する方も多かったため、目標値を上回ることができなかった。									
	0202 新型コロナウイルス感染対応のため、事前予約による少人数開催のイベントもあったが、地域の資源とジオパークの視点を通じて楽しく学び、交流の場となるような取組を再開したことにより目標値を達成することができた。									
	0203 目標値を上回ることができなかったが、団体の受け入れを再開し、コロナ禍により開催頻度を減らしていたワークショップをコロナ禍前の年間6回に戻すなどの取組により、3年ぶりに入館者数が1万人を上回った。引き続き、美しい伊豆創造センターと連携し、ジオリアをPRしていく。									
	0204 設置に向けた相談等があったものの、実際の設置には至らなかった。※2の理由により、新たに管理指標を設定した。									
	0205 国内外のネットワーク活動を通じて、伊豆半島ジオパークを積極的に情報発信することで、視察・研修等を受け入れる。なお、基準値である令和元年度については、ユネスコ世界ジオパーク加盟認定の翌年であったことから、多くの視察等の受け入れ要請があった。									

※2 ジオサイト及び誘導サイン等の整備については、ジオパーク推進協議会にてその内容やデザインなど相談を受けることはあるが、相談を経ずに整備されるケースについては把握をしていないため、管理指標0204を見直し、新たに管理指標0205を設定した。

03 県観光協会との連携（大型キャンペーン推進協議会）	達成状況	指標数					単位	担当課		
		2	2	2	2	2				
		達成数	1	1	0	0			0	
主な内容		管理指標	基準値	R3	R4	R5	R6	R7		
0301 全国宣伝販売促進会議の開催 ※3	エージェンツセールス実施回数 ※3	R1	目標値	3	3	—	—	—	回	観光課
		3回	実績値	15	0	—	—	—		
		評価	○ 達成	× 未達成						
0302 観光商談会の開催	商談会の開催回数	R1	目標値	3	3	3	4	4	回	観光課
		3回	実績値	0	4					
		評価	× 未達成	○ 達成						
0303 観光商品開発	各自自治体と連携して開発した地域独自の観光商品数 ※3	R1	目標値	—	—	500	500	550	商品	観光課
		358件	実績値	—	—					
		評価	—	—						
年度評価 R4	0301 大型キャンペーン推進協議会では、広報事業やデータを活用した市場トレンドマーケティングへの取組を強化しているため、直接的なエージェンツへの訪問等は行っていない。※3の理由により、新たに管理指標を設定した。									
	0302 静岡県を目的地とした旅行商品の造成並びに各種媒体での露出を目的に東京・大阪にて、旅行会社・メディア等を招聘し、県内観光事業者・団体との商談会を開催した。									
	0303 静岡県を目的地とした旅行商品の造成を促すための宣伝コンテンツとして、地域の特色ある観光資源を活用した観光商品の開発を推進する。									

※3 全国宣伝販売促進会議については、静岡ステーションキャンペーン（平成30年～令和元年）にて実施した際の取組であり、継続的に実施していない。また、管理指標であるエージェンツセールスについても、近年においてはデータを活用した市場トレンドマーケティングを強化するとともに、商談会等への参加に注力していることから、管理指標0301を見直し、管理指標0303を新設した。

04 その他広域連携団体・組織との連携	達成状況	指標数					単位	担当課		
		2	2	2	2	2				
		達成数	0	1	0	0			0	
主な内容		管理指標	基準値	R3	R4	R5	R6	R7		
0401 富士箱根伊豆テーマ地区推進協議会	構成18市8町3村年間観光交流客数	R1	目標値	168,000	170,000	172,000	174,000	176,000	千人	観光課
		167,138千人	実績値	128,095	183,609					
		評価	× 未達成	○ 達成						
0402 静岡県東部スポーツ産業振興協議会	東部11市9町年間観光交流客数	R1	目標値	78,000	80,000	82,000	84,000	86,000	千人	観光課
		76,220千人	実績値	51,604	66,874					
		評価	× 未達成	× 未達成						
年度評価 R4	0401 日本を代表する観光コンテンツ「富士山」を中心とした富士箱根伊豆地域を海外に向けてPRするなど、将来的に当該地域を訪れる外国人観光客の誘致を促進し、地域経済の活性化に寄与する事業を実施することで地域内の交流人口増加を図った。									
	0402 目標値を上回ることができなかったが、コロナにおける感染症の分類が見直されたことにより、アウトドアスポーツへの関心の高まりが見受けられたことから、スポーツイベントやスポーツ関連施設などの情報発信事業を強化するとともに、スポーツ合宿の誘致を図った。今後においてもスポーツを起因とした誘致を実施、支援することで地域内の交流人口増加を図る。									

担当課	産業課・企画課	施策5-4の全指標達成率					
政策目標	5 活力にあふれ交流でにぎわうまち	年度	R3	R4	R5	R6	R7
施策分野	4 商工業の振興	指標数	19	19	19	19	19
目指す姿	商工業者において経営・雇用が安定し、地域経済の発展に貢献している	達成数	9	12	0	0	0
		達成率	47.4%	63.2%	0.0%	0.0%	0.0%

1 成果指標 (KPI)		指標数	2	2	2	2	2			
		達成数	1	2	0	0	0			
		達成率	50.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
成果指標 1	有効求人倍率	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		R2.3時点	目標値	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	倍	産業課
		実績値	1.12	1.43						
		評価	○ 達成	○ 達成						
1.22倍							以上			
目標値の考え方	有効求人倍率は重要な経済指標の一つであり、一般的に求人倍率が高い社会は労働力が多く求められており、経済が活発とされている。企業が積極的に求人を募集し、求職者1人に対して1件以上の求人があることを示す1.00倍以上を維持することを目標値とした。									
成果指標 2	新規創業件数	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		R1	目標値	15	15	15	15	15	件	産業課
		実績値	13	18						
		評価	× 未達成	○ 達成						
12件							以上			
目標値の考え方	伊東市起業支援及び空き店舗対策事業補助金の平成29年度実績16件、平成30年度実績16件、令和元年度12件を参照し、その平均を超える15件以上の起業を維持することを目標とした。									
R4年度	1 (実績評価) ・ 2年前は1.00を割り込むことが続いていたが、今年度は1.00を超え続け目標値も達成しているため、良好である。 (次年度修正点) ・ 目標値を大きく超えているが、求人が福祉・医療、観光関連サービスなど業種によって偏っており、人手が足りないという見方もあるため、数字にとらわれず雇用に結び付くよう検討していく必要がある。									
	2 (実績評価) ・ 目標値を達成しているため、新規創業に対する意識は高いと考える (次年度修正点) ・ 目標値を達成していることは評価できるが、当初の売り上げ目標に到達していない事業者がかなり見られるため、アフターフォローに注力する必要がある。									

2 基本的な取組 (2桁コード) ・ 主な内容 (4桁コード)		指標数	17	17	17	17	17			※ 基本的な取組・主な内容の達成状況	
		達成数	8	10	0	0	0				
		達成率	47.1%	58.8%	0.0%	0.0%	0.0%				
O1 経営の安定を図る支援	達成状況	指標数	3	3	3	3	3				
		達成数	2	2	0	0	0				
		達成率	66.7%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%				
		基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
0101 商工団体等への支援	管理指標	支援団体数	R1	目標値	9	9	9	9	9	団体	産業課
			実績値	8	9						
			評価	× 未達成	○ 達成						
0102 小口資金融資制度の運営及び各種利子補給	管理指標	小口資金融資取扱件数	R1	目標値	100	100	100	100	100	件	産業課
			実績値	103	189						
			評価	○ 達成	○ 達成						
	管理指標	小規模事業者経営改善資金への利子補給件数	R1	目標値	50	50	50	50	50	件	産業課
			実績値	68	7						
			評価	○ 達成	× 未達成						
R4年度評価	O101 目標達成のため、次年度も継続していきたい。(目標値は、想定総支援団体数(100%)としている)										
	O102 新型コロナウイルス感染症対応枠が優遇(全額利子補給)されている制度が多いため、小規模事業者経営改善資金の件数が伸びていないが、事業者の支援はできていることから、引き続き様子を見ていきたい。										

O2 地域産品の付加価値の向上		達成状況	指標数	1	1	1	1	1			
		達成数	0	1	0	0	0				
		達成率	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%				
0201 「伊東ブランド」の価値の向上及び認定並びに情報発信	管理指標	伊東ブランド商品認定数	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
			R1	目標値	5	5	5	5	5	品目	産業課
			実績値	2	7						
			評価	× 未達成	○ 達成						
3品目							以上				
R4年度評価	O201 目標値を達成できていることは評価できるが、ブランドの価値を高めるため一事業所一品目に絞っているため、今後は件数が伸びないことも考えられるため、件数と価値をバランスよく伸ばしていくことを意識したい。										

O3 創業支援			達成状況	指標数	2	2	2	2	2		
				達成数	1	2	0	0	0		
				達成率	50.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0301	創業に関する相談窓口の設置	創業相談件数	R1	目標値	65	65	65	65	65	件	産業課
			65件	実績値	61	75					
				評価	× 未達成	○ 達成					
0302	創業塾の開催	受講者の満足割合	R1	目標値	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	%	産業課
			96%	実績値	100.0	100.0					
				評価	○ 達成	○ 達成					
年度 R 4 評価	0301 創業に向けての相談件数という点では目標値に達しているが、創業後に不安定となる事業所が多いため、創業後のフォローアップも必要である。										
	0302 受講者の満足割合は100%であったため、引き続き、商工会議所と連携して満足度の高い講義を継続していく。										

O4 中心市街地の活性化			達成状況	指標数	2	2	2	2	2		
				達成数	1	1	0	0	0		
				達成率	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0401	中心市街地活性化イベントへの支援	伊東市商業パワフル全開事業補助件数	R1	目標値	4	4	4	4	4	件	産業課
			4件	実績値	3	3					
				評価	× 未達成	× 未達成					
0402	創業の促進による空き店舗対策の推進	伊東市起業支援及び空き店舗対策事業における空き店舗利用件数	R1	目標値	2	2	2	2	2	件	産業課
			2件	実績値	6	12					
				評価	○ 達成	○ 達成					
年度 R 4 評価	0401 3件の補助であったが、例年同じような団体への補助であるため、更なる制度の周知を図り、なるべく新しい団体にも補助制度を利用していただけるよう働きかけていきたい。										
	0402 目標以上の空き店舗が利用されているため、今後も補助事業の充実を図ることで空き店舗対策を充実させていきたい。										

O5 雇用の促進			達成状況	指標数	3	3	3	3	3		
				達成数	1	0	0	0	0		
				達成率	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0501	労働関係団体や経営者との市内雇用情勢に係る情報共有	有益情報提供回数	R1	目標値	2	2	2	2	2	回	産業課
			2回	実績値	1	1					
				評価	× 未達成	× 未達成					
0502	産業を牽引するための人材の育成	ビジネススクール受講者の満足割合	R1	目標値	55.0	60.0	65.0	70.0	75.0	%	産業課
			50%	実績値	85.0	-					
				評価	○ 達成	× 未達成					
0503	魅力的な企業づくりの支援	伊東市雇用問題対策会議開催回数	R1	目標値	2	2	2	2	2	回	産業課
			2回	実績値	1	1					
				評価	× 未達成	× 未達成					
年度 R 4 評価	0501 コロナ影響後3年ぶりに対面で会議を開催できたため、今後は社会情勢に敏感に反応し積極的に意見交換をする機会を設けることで、効果的な雇用につなげていきたい。										
	0502 受講者を募集したが、定員に達しなかったため、令和4年度はビジネススクールを未実施とした。今後は、当事業の実施の可否について検討を行うとともに、実施内容についても見直しを図り、受講者が求めるビジネススクールを開催するよう努める。										
	0503 コロナ影響後3年ぶりに対面で会議を開催することができたが、魅力的な企業づくりというより、現状はコロナ影響後の回復についてがメインのテーマとなっているため、いち早く回復しプラスの意見交換ができるよう進めていきたい。										

O6 企業誘致の推進			達成状況	指標数	3	3	3	3	3		
				達成数	1	2	0	0	0		
				達成率	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%		
主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0601	静岡県企業立地市町推進連絡会と連携した広報 ※4	連絡会加盟団体と連携した広報の回数 ※4	R1	目標値	1	2	-	-	-	回	企画課
			0回	実績値	0	0					
				評価	× 未達成	× 未達成					
0602	調査・情報収集	県や民間団体等との意見交換の回数	R1	目標値	4	70	80	90	100	回	企画課
			2回	実績値	68	131					
				評価	○ 達成	○ 達成					
0603	サテライトオフィス等を設置する事業者への支援	担当部課に相談の上、企業立地が行われた件数	R1	目標値	1	1	1	2	2	件	企画課
			1件	実績値	0	2					
				評価	× 未達成	○ 達成					
0604	国県等と連携した広報 ※4	国県等と連携した広報の回数 ※4	R1	目標値	-	-	3	4	5	件	企画課
			0件	実績値	-	-					
				評価							
年度 R 4 評価	0601 静岡県企業立地市町推進連絡会加盟団体と連携した広報の回数を管理指標としていたが、これまでに当連絡会と連携した広報の機会がなかったため、今後は、国の「地方創生テレワーク」や県が運営する情報サイト「サテライトオフィスしずおか」等で情報発信をしていく。										
	0602 前年度までの取組に加え、イベント等で本市の企業誘致を紹介する機会が増えたことにより、目標値を大幅に上回った。想定を上回るペースで県や民間団体等との意見交換を実施することができたため、令和5年度以降の目標値を再検討する。										
	0603 県の補助金を活用したICT企業や小規模製造工場の誘致をすることができた。なお、令和3年度までは管理指標を「市補助金を活用した新規企業立地件数」としていたが条件によっては活用なしでの立地もあるため、令和4年度から内容を変更した。										
	0604 静岡県企業立地市町推進連絡会加盟団体と連携した広報の回数を管理指標としていたが、これまでに当連絡会と連携した広報の機会がなかったため、新たに管理指標を新設した。										

※4 管理指標0601にて設定していた静岡県企業立地市町推進連絡会と連携した広報については、効果的に首都圏に向けた情報発信の機会がないため、管理指標0601を見直し、令和5年度以降は国県等と連携した広報を主な内容として、管理指標0604を新設した。

07 消費者の利便性向上啓発の促進			達成状況	指標数	2	2	2	2	2		
				達成数	1	1	0	0	0		
				達成率	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0701	商工団体との連携によるキャッシュレス決済等の導入啓発の促進	商店街アンケートによるキャッシュレス決済等導入率	R1	目標値	66.0	67.0	68.0	69.0	70.0	%	産業課
			65%	実績値	78.8	76.4					
				評価	○ 達成	○ 達成					
0702	消費者の利便性向上策への取組支援	ぬくもーるECサイトの閲覧数	R1	目標値	20,500	23,000	25,500	28,000	30,500	回	産業課
			18,000回	実績値	17,500	14,500					
				評価	× 未達成	× 未達成					
年度 評価	R4	0701 新型コロナウイルス感染症の影響が、結果としてキャッシュレス決済の普及につながっているが、現金と比較して手数料が発生することに理解が得られず、キャッシュレスを止める事業者もあることも課題である。									
		0702 ぬくもーるの発売商品は、伊東ブランド認定商品が大平を占めるため、ブランドにおける品目ごとの広報戦略（市外向け or 市内向け）を明確にすることでECサイトの閲覧数の増加につなげていく。									

08 ふるさと納税制度を活用した地域振興の推進			達成状況	指標数	1	1	1	1	1		
				達成数	1	1	0	0	0		
				達成率	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0801	ふるさと納税制度の市内事業者への周知に向けた取組	ふるさと納税の寄附件数	R1	目標値	6,600	7,700	8,800	9,900	11,000	件	企画課
			5,477件	実績値	7,964	13,082					
				評価	○ 達成	○ 達成					
年度 評価	R4	0801 新たな寄附の手段として、伊東マリンタウンにおける「伊東市ふるさと納税応援感謝券」を返礼品とした寄附の受付を開始するとともに、期間限定で返礼品内容を増量するなど、寄附者にとって魅力的な返礼品の提供に努めたことで目標値を達成することができた。									



担当課	産業課・農業委員会事務局		施策5-5の全指標達成率					
政策目標	5	活力にあふれ交流でにぎわうまち	年度	R3	R4	R5	R6	R7
施策分野	5	農林業の振興	指標数	15	15	15	15	15
目指す姿	農林業者において、意欲ある担い手が育成確保され、地域経済の発展に貢献している		達成数	9	6	0	0	0
			達成率	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%

1 成果指標 (KPI)	担い手農業者数 (年度末の総数)	指標数	2	2	2	2	2	単位	担当課
		達成数	2	2	0	0	0		
		達成率	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
		基準値	R3	R4	R5	R6	R7		
成果指標 1	58人	目標値	62	64	66	68	70	人	産業課
		実績値	62	66					
目標値の考え方		担い手農業者数については、過去の傾向から年間2人増加するものとして算定							
成果指標 2	担い手への農地利用集積面積	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		R1	74.4	76.8	79.2	81.6	84.0		
69.1ha	目標値	74.4	76.8	79.2	81.6	84.0	ha	産業課	
	実績値	80.4	93						
目標値の考え方		担い手への農地利用集積面積については、令和元年度における農業者1人あたりの利用面積(約1.2ha)を担い手農業者数に乗じて算定							
R4年度	1(実績評価)・伊東市農業経営基盤の強化に関する基本的な構想を見直したことにより、担い手と見なすことのできる経営体の数が増加した。								
	(次年度修正点)・認定農業者制度等について、JAふじ伊豆あいら伊豆地区本部など関係機関と連携し引き続き周知を図ることにより、今後育成すべき担い手の増加に向けた取組を行う。								
R4年度	2(実績評価)・担い手とみなすことのできる経営体の増加により集積面積が増加した。								
	(次年度修正点)・担い手の育成を図るとともに、農業委員や農地利用最適化推進委員などと協力し、引き続き、担い手への農地集積を推進する。								

2 基本的な取組 (2桁コード)・主な内容 (4桁コード)	指標数	13	13	13	13	13	※ 基本的な取組・主な内容の達成状況				
	達成数	7	4	0	0	0					
	達成率	53.8%	30.8%	0.0%	0.0%	0.0%					
O1 新規就農者の確保	達成状況	指標数	2	2	2	2	2	単位	担当課		
	達成数	2	0	0	0	0					
	達成率	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%					
	基準値	R3	R4	R5	R6	R7					
O101	就農時に必要となる資金の支援	伊東市新規就農者等支援事業新規就農者補助件数	R1	目標値	1	1	1	1	1	件	産業課
			1件	実績値	1	0					
O102	農業施設の整備への支援	伊東市新規就農者等支援事業施設栽培補助件数	R1	目標値	1	1	1	1	1	件	産業課
			0件	実績値	1	0					
R4年度	O101 個人の新規就農者数が1件であり、例年に比べて少なかったことが影響し、補助件数が目標値に至らなかった。就農相談時に制度を紹介するとともに、JAをはじめとする関係機関との連携も行き、引き続き就農に向けた支援に取組む。										
	O102 農業施設の整備について、制度活用を望む農業者からの申請がなかったことから目標値を達成できなかった。引き続き制度の周知を図り、農業者の経営安定のために農業用施設の整備に向けて支援する。										

O2 担い手育成及び農地の集積・集約化	達成状況	指標数	2	2	2	2	2	単位	担当課		
	達成数	2	0	0	0	0					
	達成率	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%					
	基準値	R3	R4	R5	R6	R7					
O201	人・農地プランの策定推進	アンケート実施区域	R1	目標値	1	1	1	1	1	件	産業課
			1件	実績値	3	0					
O202	農地中間管理事業等の活用	利用権設定面積	R1	目標値	2.1ha	2.1ha	2.1ha	2.1ha	2.1ha	ha	産業課
			3.1ha	実績値	3.4ha	0.9ha					
R4年度	O201 令和5年度から「人・農地プラン」が「地域計画」として制度改正がなされる。新制度の詳細が未確定である中で、令和4年度においては担い手への集積・集約化が見込める地域でのアンケートを実施することができなかった。「地域計画」制度実施地区以外においても、担い手への農地集積及び農用地の有効活用のために貸し手・借り手の意向把握を行っていく。										
	O202 令和4年度においては、新規就農者が例年に比べて少なかったことにより、目標としていた2.1haを達成することができなかった。農用地所有者及び権利取得希望者の意向把握を行い、農用地の有効活用を促進する。										



03 森林環境整備の促進			達成状況	指標数	3	3	3	3	3		
				達成数	1	1	0	0	0		
				達成率	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%		
主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
0301 森林環境譲与税を活用した森林整備の促進	森林経営管理制度に基づく森林現地調査実施面積	R2 23.8ha	目標値	25	25	25	25	25	ha	産業課	
			実績値	33.9	5						
			評価	○ 達成	× 未達成						
0302 森林保全活動の支援	民間団体による森林整備面積	R2 25.6ha	目標値	25	25	25	25	25	ha	産業課	
			実績値	11.7	9.9						
			評価	× 未達成	× 未達成						
0303 森の力再生事業の促進	森の力再生事業整備面積	R2 1.47ha	目標値	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	ha	産業課	
			実績値	0	1.86						
			評価	× 未達成	○ 達成						
年度評価	R4 0301 現地調査候補地を策定するうえで、観光施設、学校周辺の森林に絞って策定した結果、目標数値である25haを下回る結果となった、令和5年度は調査する森林を厳選し目標数値の達成を目指す。										
	R4 0302 令和3年度以降、活動している民間団体が減少しているため目標数値に至らなかったが、今後も森林保全活動に取り組んでいる民間団体に対して支援していきたい。										
	R4 0303 目標数値である1haを上回る1.86haを整備し目標を達成、令和5年度も継続して行っていく。										

04 鳥獣被害防止			達成状況	指標数	2	2	2	2	2		
				達成数	1	1	0	0	0		
				達成率	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
0401 狩猟者への支援	わな実務研修参加者数	R2 15人	目標値	16	17	18	19	20	人	産業課	
			実績値	12	0						
			評価	× 未達成	× 未達成						
0402 関係団体と連携した駆除及び被害防止対策への取組	駆除頭数(市許可分)	R1 1,013頭	目標値	1,100	1,090	1,080	1,070	1,060	頭	産業課	
			実績値	929	801						
			評価	○ 達成	○ 達成						
年度評価	R4 0401 対象となる狩猟免許を新規取得しわなの会に入会した者がおらず、実務研修会が開催されなかったため目標未達成となった。R5年度以降広報活動等を適正に行い、狩猟免許新規取得者及び捕獲従事者の育成を図る。										
	R4 0402 田方猟友会伊東分会及び伊東わなの会と連携し、市内の奥山、農地、民家付近での有害鳥獣駆除及び被害防止対策を推進した。										

05 農林業所得の向上			達成状況	指標数	3	3	3	3	3		
				達成数	1	1	0	0	0		
				達成率	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%		
主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
0501 6次産業化に向けた取組や新たな基幹となる作物振興への支援	伊東市6次産業化推進事業費補助金申請件数	R1 4件	目標値	3	3	3	3	3	件	産業課	
			実績値	2	2						
			評価	× 未達成	× 未達成						
0502 観光関係団体との連携や農産物そのもののブランド化による高付加価値化の推進	ダイダイ出荷者数	R1 61人	目標値	61	62	63	64	65	人	産業課	
			実績値	58	53						
			評価	× 未達成	× 未達成						
0503 有機農業の促進	自然農法普及講座参加者数	R1 239人	目標値	200	200	200	200	200	人	産業課	
			実績値	200	423						
			評価	○ 達成	○ 達成						
年度評価	R4 0501 目標としていた3件の申請には至らなかった。一方、イベント出店に係る申請があったことから、市内イベントの増加を見込み、補助制度について引き続き周知を図る。										
	R4 0502 農業者の高齢化により薬剤散布が難しくなったことなどにより、目標としていた出荷者数を達成できなかった。引き続きJAと情報共有し、地域作物として推進をしていく。										
	R4 0503 関係団体において毎週開催している収穫体験・食農教室を中心に、目標を上回る参加者があった。引き続き、関係団体と協力して事業を実施する。										

06 広報活動の充実			達成状況	指標数	1	1	1	1	1		
				達成数	0	1	0	0	0		
				達成率	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
0601 市民向け広報紙(農業委員会だより)の充実	広報紙発行回数	R1 2回	目標値	3	2	2	2	2	回	農業委員会事務局	
			実績値	2	2						
			評価	× 未達成	○ 達成						
年度評価	R4 0601 市民向け広報紙(農業委員会だより)を目標である年2回発行したことによって、農業への関心度向上、地産地消の推進を図ることができた。										

担当課	産業課	施策5-6の全指標達成率					
政策目標	5 活力にあふれ交流でにぎわうまち	年度	R3	R4	R5	R6	R7
施策分野	6 水産業の振興	指標数	11	11	11	11	11
目指す姿	水産業者において、水産物の安定的な供給、活用により漁業経営の安定・向上が図られ、地域経済の発展に貢献している	達成数	2	7	0	0	0
		達成率	18.2%	63.6%	0.0%	0.0%	0.0%

1 成果指標 (KPI)	指標数	1	1	1	1	1	単位	担当課	
	達成数	0	1	0	0	0			
	達成率	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
成果指標 1	水揚数量	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	t	産業課
		R1	3,600	3,600	3,600	3,600	3,600		
		実績値	2,833	3,808					
		評価	× 未達成	○ 達成					
目標値の考え方	いとう漁協が算出した伊東魚市場水揚高統計を参照し、過去の傾向から現状維持を目標値とする。								
R4年度	1 (実績評価) ・地球温暖化、黒潮大蛇行等、自然的な要因によって水揚げに大きな影響が続いていたが、年頭よりイワシ、サハの豊漁に恵まれたことから、目標値を上回った。 (次年度修正点) ・いとう漁業協同組合が実施する種苗放流(ヒラメ、アワビ)や魚礁設置(アオリイカ)事業及び伊豆地域栽培漁業推進協議会が取り組む種苗(マダイ)放流事業に対して、引き続き支援を行い水産資源増大を図っていく。								

2 基本的な取組(2桁コード)・主な内容(4桁コード)	指標数	10	10	10	10	10	※ 基本的な取組・主な内容の達成状況				
	達成数	2	6	0	0	0					
	達成率	20.0%	60.0%	0.0%	0.0%	0.0%					
O1 安定した漁業の推進	達成状況	指標数	3	3	3	3	3	単位	担当課		
		達成数	1	1	0	0	0				
		達成率	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%				
	主な内容	管理指標	基準値	R3	R4	R5	R6	R7			
O101	沿岸漁場での資源拡大対策の推進	各種放流魚等水揚げ量	R1	目標値	13	13	13	13	13	t	産業課
			13 t	実績値	9	6					
				評価	× 未達成	× 未達成					
O102	ブランド化の推進と流通経路の拡大	スーパー直販水揚げ量	R1	目標値	5	5	5	5	5	t	産業課
			5 t	実績値	5	9					
				評価	○ 達成	○ 達成					
O103	6次産業化に向けた漁業関係団体との連携による水産物の高付加価値化の推進	水産加工品売上高	R1	目標値	3,900	3,900	3,900	3,900	3,900	千円	産業課
			3,900千円	実績値	2,902	2,405					
				評価	× 未達成	× 未達成					
年度評価	O101 伊豆地域栽培漁業推進協議会が取り組む放流事業に対して支援を行ったが、稚魚の育成状況が良くなく、目標値を達成できなかった。引き続き、効率よく高い効果が得られる方法を関係機関と協議し、つくり育てる栽培漁業を推進していく。										
	O102 サハ等のすり身を使った加工品が多く開発されているため、大手スーパーや大型店舗などへの流通経路や販路拡大に向けた取組を展開し、引き続き、魚価の安定・向上を確保していく。										
	O103 水産加工従事者が減少したため目標値に達しなかったが、今後も伊豆・いとう地魚王国の取組、漁業関係団体の地魚の高付加価値化に向けた活動を支援し、水産業の6次産業化の取り組みが図れるよう連携し推進していく。										

O2 担い手の育成・確保	達成状況	指標数	2	2	2	2	2	単位	担当課		
		達成数	1	2	0	0	0				
		達成率	50.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%				
	主な内容	管理指標	基準値	R3	R4	R5	R6	R7			
O201	漁業者等への経営支援	漁業近代化資金利子補給件数	R1	目標値	4	4	4	4	4	人	産業課
			4人	実績値	4	8					
				評価	○ 達成	○ 達成					
O202	青年漁業者等の育成	新規認定漁業士数	R1	目標値	1	1	1	1	1	人	産業課
			1人	実績値	0	3					
				評価	× 未達成	○ 達成					
年度評価	O201 漁業者等が漁船設備や漁具などの資本整備の高度化を図るため、金融機関(信漁連)から資金を借り受けて整備する場合に発生する利子に対して補助することで、漁業経営の安定化を後押ししていく。										
	O202 いとう漁業協同組合や静岡県水産技術研究所伊豆分場と連携し、認定漁業士や青年漁業士の掘り起こしを行い、地域漁業のリーダーを確保し、若手漁業者の育成を引き続き図っていく。										

O3 魚食の普及			達成状況	指標数	5	5	5	5	5	単位	担当課
			達成数	0	3	0	0	0			
			達成率	0.0%	60.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
主要内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7			
O301 魚のおろし方教室の開催	教室参加者数	R1	目標値	170	170	170	170	170	人	産業課	
		170人	実績値	120	200						
			評価	× 未達成	○ 達成						
O302 学校給食の活用	納品数量	R1	目標値	63,000	63,000	4,500	4,700	5,000	kg	産業課	
		63,000個	実績値	41,942	335						
		R4	評価	× 未達成	× 未達成						
O303 各種イベントへの参加	回数	R1	目標値	8	8	8	8	8	回	産業課	
		8回	実績値	0	2						
			評価	× 未達成	× 未達成						
O304 観光との結びつきによる高付加価値化の推進	情報誌等の発行回数	—	目標値	1	1	1	1	1	回	産業課	
		※	実績値	0	1						
			評価	× 未達成	○ 達成						
O305 地魚の価値向上のため取扱事業所の宣伝周知による広報	伊豆・いとう地魚王国オフィシャルフェイスブックのフォロワー数	R2	目標値	180	240	300	360	420	人	産業課	
		120人	実績値	118	240						
			評価	× 未達成	○ 達成						
年度評価 R4	O301 令和4年度については、新型コロナウイルス感染症の影響が緩和してきたことに伴い、魚のおろし方教室を3か所で実施することができ、目標参加者数に届いた。今後も地魚と触れ合う機会を増やし、魚食普及に努めていく。										
	O302 いとう漁業協同組合が加工品として学校給食に納品しているサバの切身を管理指標としていたが、令和4年度にて納品を止める意向であるため、令和5年度以降の管理指標を魚のすり身に変更し、学校給食の活用を継続していく。										
	O303 令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響が緩和されたが、未だに県内や首都圏で開催される物産展や商談会への支援事業が中止となっている状況のため、目標達成には至らなかった。コロナ収束後は伊東の地魚の認知度を向上させるために、各種イベントに積極的に参加していきたい。										
	O304 伊豆・いとう地魚王国の地域プロモーション事業により情報誌発行を計画していたが、新型コロナウイルス感染症の影響等により実施計画を変更し、有名YouTuberに依頼し伊豆・いとう地魚王国加盟店の商品PRを実施した。										
	O305 地域全体で地魚の価値向上のために、伊豆・いとう地魚王国加盟店の取組みをFacebook及びHPを使い積極的に周知した結果、フォロワー数が目標数に届いた。										

※ 令和3年度からの新規事業のため、基準値を一とした。

担当課	企画課・観光課	施策5-7の全指標達成率					
政策目標	5 活力にあふれ交流でにぎわうまち	年度	R3	R4	R5	R6	R7
施策分野	7 移住定住の促進・関係人口の拡大	指標数	11	11	11	11	11
目指す姿	移住（希望）者が安心して移住し、定住することができる	達成数	8	10	0	0	0
		達成率	72.7%	90.9%	0.0%	0.0%	0.0%

1 成果指標（KPI）	移住者数（静岡県調査による。）	指標数	3	3	3	3	3	単位	担当課
		達成数	2	3	0	0	0		
		達成率	66.7%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
成果指標 1	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	人	企画課	
R1	目標値	100	100	100	100	100	以上		
実績値	34人	96	113						
評価	× 未達成 ○ 達成								
目標値の考え方	全国的に地方移住への関心が高まっている背景も踏まえ、本市としても移住促進に積極的に取組み、毎年度100人を目標とした。								
成果指標 2	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	人	企画課	
R1	目標値	200	200	200	200	200	以上		
実績値	94人	263	274						
評価	○ 達成 ○ 達成								
目標値の考え方	伊東市総合戦略において令和42年度の本市の人口を36,600人程度確保することを目指しており、そのためには毎年度200人の転入超過を目指す必要があると見込まれるため。								
成果指標 3	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	件	企画課	
R1	目標値	160	180	200	220	240	以上		
実績値	140件	210	400						
評価	○ 達成 ○ 達成								
目標値の考え方	全国的に地方移住への関心が高まっている背景も踏まえ、本市としても移住促進に積極的に取組み、各年度20件の増加を見込み、240件とした。								
R4年度	1（実績評価）・移住相談件数はもとより、国の移住就業支援金が後押しとなり、支援金への問い合わせも増加傾向にある。令和4年度については、目標値を達成したため一定の成果があったものと評価できる。 （次年度修正点）・移住相談にあたっては、これまで通り丁寧な説明を行うとともに、国や市独自の支援制度について、的確な情報提供を心掛ける。								
	2（実績評価）・テレワークの進展とともに地方移住の機運が高まる中で、県及び本市が実施する移住・定住促進施策を利用して県外から本市に移住した人数も年々増加していることから、一定の効果があったものとする。 （次年度修正点）・令和5年度から新たに移住者住宅資金貸付金利子補給事業を創設した。住宅取得に係る移住初期段階の経済的負担を軽減することで、移住者の増加及び定着を図り、目標値の達成を目指していく。								
	3（実績評価）・首都圏で開催される移住相談会に参加するとともに、静岡県移住相談センターの相談員や民間の移住促進団体と連携を図ったことで、目標値を大きく上回る成果があったものとする。 （次年度修正点）・令和5年度についても、首都圏で開催される移住相談会へ積極的に参加するとともに、市移住定住サイトによる情報発信等を細目に行っていく。								

2 基本的な取組（2桁コード）・主な内容（4桁コード）	指標数	8	8	8	8	8	※ 基本的な取組・主な内容の達成状況				
	達成数	6	7	0	0	0					
	達成率	75.0%	87.5%	0.0%	0.0%	0.0%					
O1 移住定住の増大に向けた施策の促進	達成状況	指標数	1	1	1	1	単位	担当課			
	達成数	1	1	0	0	0					
	達成率	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%					
O101	主な内容	管理指標	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	%	企画課	
	「伊東市移住・定住促進プラン」による「就業、住宅、子育て・教育、医療・福祉、交流・体験、地域・市民団体との連携・情報発信」分野の総合的な施策の実施	プラン掲載の施策の実施率	R1	目標値	100	100	100	100			100
			100%	実績値	100	100					
評価	○ 達成 ○ 達成										
R4年度	O101 伊東市移住定住促進プランに基づき、本市における移住定住促進施策について、関係各課と連携し取り組むことができた。										

O2 情報発信の強化	達成状況	指標数	1	1	1	1	1	単位	担当課		
	達成数	1	1	0	0	0					
	達成率	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%					
O201	主な内容	管理指標	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	回	企画課	
	移住定住に必要な就業・住宅・子育て等に関する情報や移住支援策・先輩移住者の体験談の提供	移住ホームページの更新回数（5か年累計）	R1	目標値	10	20	30	40			50
			0回	実績値	17	23					
評価	○ 達成 ○ 達成										
R4年度	O201 移住相談会の開催や移住に関連するイベント情報を発信するとともに移住支援制度等を更新するなど、細目に定期的に情報を発信することができた。										

O3 相談体制の充実			達成状況	指標数	3	3	3	3	3		
				達成数	3	3	0	0	0		
				達成率	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
O301	市役所内のワンストップ窓口での移住相談の実施	電話・メール・窓口での相談件数	R1	目標値	50	60	65	70	80	件	企画課
			45件	実績値	148	265					
				評価	○ 達成	○ 達成					
O302	県や近隣自治体と連携した首都圏等での移住相談会の実施	移住相談会・セミナーへの参加回数	R1	目標値	5	5	6	6	7	回	企画課
			4回	実績値	11	10					
				評価	○ 達成	○ 達成					
O303	移住を検討している方に対する市内案内の実施	現地ナビゲート事業の案内件数	R1	目標値	20	25	30	35	40	件	企画課
			9件	実績値	36	46					
				評価	○ 達成	○ 達成					
年度評価	R4	O301 昨年度の相談件数を大きく上回り、改めて地方移住の機運が高まっていることを再認識した。引き続き、相談者に寄り添った相談対応ができるよう課内の体制を強化していく。									
		O302 県主催の移住相談会への参加に加え、他市町と連携したセミナーや本市単独の移住相談会へ積極的に参加することができた。首都圏で開催される移住相談会では、本市ブースへの来場相談者も多いことから、継続して参加していく。									
		O303 現地ナビゲート事業によって案内を受けた移住相談者から高い評価を受けており、一定の成果があったと考える。									

O4 関係人口の増大に向けた施策の促進			達成状況	指標数	3	3	3	3	3		
				達成数	1	2	0	0	0		
				達成率	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%		
主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
O401	本市とのつながりをもつ機会・きっかけにつながる環境の整備	市外の方が地域との関わりを持つことを目的としたイベント実施回数	R1	目標値	2	3	4	5	6	回	企画課
			0回	実績値	1	3					
				評価	× 未達成	○ 達成					
		市補助金を活用して設置されたコワーキングスペース等の件数	R1	目標値	1	1	1	2	2	件	企画課
			0件	実績値	1	2					
				評価	○ 達成	○ 達成					
O402	ワーケーションの推進	ワンストップ窓口問い合わせ件数(単年)	R1	目標値	25	50	60	70	80	件	観光課
			0件	実績値	11	14					
				評価	× 未達成	× 未達成					
年度評価	R4	O401 両指標について目標値を達成できた。またイベントの参加者との継続的な取組やコワーキングスペースを起点とした関係人口創出の取組を民間事業者等と連携することで、さらなる関係人口の増大を図る。									
		O402 全国的な行動制限の解除等により、出社による勤務が回復しリモートワークが相対的に減少したことにより未達成となった。しかしながら、首都圏の企業では未だ関心が高い取組であることから、企業向けの情報発信を強化していきたい。									



担当課	秘書広報課	施策5-8の全指標達成率					
政策目標	5 活力にあふれ交流でにぎわうまち	年度	R3	R4	R5	R6	R7
施策分野	8 国際交流の推進・都市交流の促進	指標数	11	11	11	11	11
目指す姿	市民が身近で国際交流が楽しみ、国際理解や都市間交流により相互の地域の理解が育まれている	達成数	2	2	0	0	0
		達成率	18.2%	18.2%	0.0%	0.0%	0.0%

1 成果指標 (KPI)	指標数	3	3	3	3	3	単位	担当課	
		達成数	0	0	0	0			0
		達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			0.0%
成果指標 1	「国際交流機会の充実」に満足している市民の割合 (市民満足度調査)	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	%	秘書広報課
		R2	73.0	75.0	76.0	77.0	78.0		
目標値の考え方	「国際交流機会の充実」に満足している市民の割合は、令和元年度実績69.8%、令和2年度実績72.3%を参照し、各年度1%程度の上昇を見込む中で、78.0%以上とした。								
成果指標 2	日本語教室受講者数 (延べ人数)	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	人	秘書広報課
		R1	1,072	1,129	1,186	1,243	1,300		
目標値の考え方	外国人人口は、平成28年3月末460人、令和2年3月末658人で、約1.4倍増加していることから、日本語教室受講者数 (延べ人数) は、令和元年度実績958人から、外国人人口と同程度の増加を見込む中で、1,300人とした。								
成果指標 3	国内姉妹 (友好) 都市交流事業の実施回数	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	回	秘書広報課
		R1	6	6	6	6	6		
目標値の考え方	国内姉妹 (友好) 都市交流事業の実施回数は、引き続き交流を深めていくことを目標とするため、基準値を維持することとした。								
R4年度	1 (実績評価) ・市民へ向けた交流事業は再開したが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、従来の規模ではなく縮小開催となったため、市民満足度の割合の目標値を達成できなかった。 (次年度修正点) ・国際交流フェスタや異文化理解講座など例年行っている事業を開催するとともに、従来の規模に戻していく中で国際交流に触れる場作りや周知を図るとともに、国際交流に係る市民満足度を上げていく。								
	2 (実績評価) ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、8月～9月に休講した影響もあり受講者目標数を達成できなかった。 (次年度修正点) ・コロナ禍の令和3年度から令和4年度にかけて189人増加したため、目標値に向け引き続き活動を行っていく。								
	3 (実績評価) ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、都市交流事業を一部しか再開できず、目標値を達成できなかった。 (次年度修正点) ・例年行っている事業を開催し、交流を継続していく。								

2 基本的な取組 (2桁コード) ・主な内容 (4桁コード)	指標数	8	8	8	8	8	※ 基本的な取組・主な内容の達成状況		
	達成数	2	2	0	0	0			
	達成率	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
O1 国際交流事業の推進	達成状況	指標数	3	3	3	3	3	単位	担当課
	達成数	0	0	0	0	0			
O101 国際交流フェスタ等の開催	管理指標	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	人	秘書広報課
			R1	900	925	950	975		
O102 友好 (交流) 都市との交流	管理指標	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	回	秘書広報課
			R1	6	6	6	6		
O103 伊東国際交流協会の活動の促進	管理指標	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	人・団体	秘書広報課
			R1	360・31	370・31	380・31	390・31		
年度評価	R4	O101 新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を講じながら、規模を縮小して開催したため、目標値を達成できなかった。引き続き、新型コロナウイルス感染症の基本的な感染防止対策に配慮しつつ、イベントの魅力向上及び周知に努めていく。							
		O102 新型コロナウイルス感染症拡大のため、交流事業は中止とした。入国制限が解除されたことから、令和5年度は交流事業の再開に努めていく。							
		O103 会員数の減少や会員の高齢化が進んでいるため、各種イベントや教室の開催を通じて新規会員の取得に努めていく。							

02 国際理解の啓発			達成状況	指標数	2	2	2	2	2		
				達成数	0	0	0	0	0		
				達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
0201 異文化理解講座等の開催	異文化理解講座等を通じて知識が深まったと感じた参加者の割合	— ※	目標値	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	%	秘書広報課	
			実績値	0	53.0						
			評価	× 未達成	× 未達成						
0202 次世代の人材育成	学校への国際理解友好都市紹介講座の派遣回数	R1 3回	目標値	3	3	3	3	3	回	秘書広報課	
			実績値	0	1						
			評価	× 未達成	× 未達成						
年度評価 R4	0201 参加者（49人）のうち実施後アンケートにおいて知識が深まったと答えた人（26人）は53%となり、目標値を達成できなかった（アンケート回答者は34人）。アンケート結果を基に講座内容を研究するとともに、引き続き開催について周知していく。										
	0202 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、学校からの依頼が減ったため、目標値を達成できなかった。引き続き、学校へ周知していく。										

※ 基準値については、R3から調査を実施するため、—とした。

03 外国人市民の日常生活環境の支援			達成状況	指標数	2	2	2	2	2		
				達成数	2	2	0	0	0		
				達成率	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
0301 行政・生活情報の多言語化	伊東市ホームページの外国語翻訳	R2 4言語	目標値	4	4	4	4	4	言語	各課 (秘書広報課)	
			実績値	4	4						
			評価	○ 達成	○ 達成						
0302 情報発信の充実	CATVによる外国人市民向け情報の英語放送回数	R1 毎日5回	目標値	5/日	5/日	5/日	5/日	5/日	回	秘書広報課	
			実績値	5/日	5/日						
			評価	○ 達成	○ 達成						
年度評価 R4	0301 目標値を達成しており、今後も継続して実施していく予定である。										
	0302 目標値を達成しており、今後も継続して実施していく予定である。										

04 国内姉妹（友好）都市交流事業の推進			達成状況	指標数	1	1	1	1	1		
				達成数	0	0	0	0	0		
				達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
0401 市民交流活動の推進	民間自主交流数	R1 3回	目標値	3	3	3	3	3	回	秘書広報課	
			実績値	2	1						
			評価	× 未達成	× 未達成						
年度評価 R4	0101 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、交流ができない活動があった。今後は、国内提携姉妹（友好）都市の周知に努め、民間主体の交流の一層の推進を図っていく。										

※機構改革に伴う業務の見直しのため、～R4：秘書課、R5～：秘書広報課